



アイデア説明文を作るメリット

さあ、以上で終了です。10個のテーマに従って説明すれば、自然と1つのまとまった文章を作ることができます。見ず知らずの人に、パッとこの説明文を見せられても、その人が何を考えたのかが、すぐにわかると思います。説明文を書く上で、一番大切なことは、「説明文を見て、その人がどんなことを考えたのかがわかること」。さらには、「その説明文を読めば、その人が作った物とまったく同じ物を、誰でも作ることができる内容であること」です。

なお、説明文を作る時点で、アイデアが試作品のような形で、完成していれば、より詳しい構造の説明ができるようになります。鉛筆と消しゴムをくっつける、他の方法も発見できるかもしれません。また、実際に使ってみて、より具体的な効果を確かめることができれば、効果の説明の部分も、より具体的に書けることになります。

さて、「アイデア説明書」の作り方を最初に紹介したのは、本書が目標としている自分で特許出願書類を作る際に役立つからと、説明しました。自分が考えたアイデアを、ポイントに沿って分析しながら、10個のテーマに従って説明する文章を作っておくと、特許出願書類の文章作成が大変楽になるのです。

さらには、「特許出願書類作成のため」以外にも、この説明文を作ることは、次のようにたくさんのメリットがあります。

- 自分で特許出願書類を作るときに役立つ
- テーマごとにアイデアを分析できるので、書き忘れなく、アイデアを隅々まで把握できる
- 企業に売り込む場合の企画提案書になる
- 弁理士に特許出願書類作成を依頼する際にも役立つ
- 商品化された際、取扱説明書を作成するときに役立つ
- 売り込み先の企業で、プレゼンをする際の台本としても役立つ
- アイデア発表会などでアイデア発表をする際の台本としても役立つ
- 社内研究部会などで、研究発表をする際の台本としても役立つ

しっかりとしたアイデア説明書を作ると、その後さまざまな過程で、非常に役立ちます。文章の作り方を、ここでしっかりとマスターしておいてください。